

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)(案)

協議会名:大樹町地域公共交通会議

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス乗降調査 ・利用者ニーズ把握調査結果の整理 ・意見交換会の実施 ・大樹町地域公共交通計画(案)の作成 ・実証運行計画の立案・実証運行の実施 ・協議会の実施 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種調査結果から、町民の移動実態及びニーズの把握について、整理した。 ・これらの整理結果から、今後大樹町として、解決すべき課題設定及び課題解決に向けた各種施策を取りまとめた、地域公共交通計画(たたき台)を作成した。 ・今後、実施・開催を予定する実証運行及び町民との意見交換会、協議会の検討を経て、最終的な地域公共交通計画として取りまとめを行う。 	<p style="text-align: center;">A</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していたスケジュールから、これまでの計画策定スケジュールに遅延が生じているが、完了予定日(令和3年3月31日)までに、全ての事業及び検討を完了させる目途が立っており、これまでの事業についても、適切に実施されている。</p>	<p>目標①: 町内で安心して暮らし続けるための生活移動の利便性向上に資する公共交通の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地における交通空白地域において住宅街と生活利便施設を繋ぐ市街地循環バスの運行、サービス水準が低水準である農村部において移動実態及び高齢化等の状況を踏まえたデマンド交通の導入を予定(実証運行により検証を予定) ※令和4年度確保維持事業(地域内フィーダー系統)の活用を見込んでいる ・将来的な技術開発として、自動運転技術やMaaSなどの先進技術の導入についても継続的に検討 <p>目標②: 町内外への移動の足の利便性向上に向けた交通拠点としての機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内交通と地域間幹線系統の結節点としての機能を有している道の駅コスモール大樹において、今後、デジタルサイネージ等による運行情報の提供など、交通拠点として必要となる機能の強化を検討・実施 ・目標①で展開する町内交通と地域間幹線系統である広尾線を道の駅コスモールで接続させ、町内移動のみならず、広域移動の利便性向上も図り、広尾線の維持に向けた施策として位置付ける <p>目標③: 町民の公共交通への意識醸成や利用したいと思える利用促進策の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標①及び②で展開するハード整備に加え、町民の公共交通に対する意識変容を促す取り組みとして、バスマップ等による町内交通の運行情報提供や公共交通に乗り慣れていない町民等への乗り方教室の実施等の利用促進策を展開 <p>目標④: 持続可能な公共交通の確保・維持に向けた体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標①から③の事業を適切に実施していくため、大樹町地域公共交通会議において、本計画で位置づける数値目標を基に、事業の実施及び改善を図る